

株式会社モリモト医薬 主催

服薬（介護・在宅医療）研究会第2回セミナー & 交流会

## 「服薬を支える新技術、イノベーションの展望」

「服薬革命、服薬の世界を変える。—開発者と使用者側の矛盾と問題—」

超高齢化社会に向けてあなたは どうしますか？—安心・安全・便利・快適を目指して—

開催日：2013年1月21日(月)

場 所：株式会社モリモト医薬 大阪研究センター4F セミナールーム

参加費：お一人様1,000円 (いずれも交流会参加費含む)

展示又は口演参加は1社5,000円 (1人分の交流会参加費含む)

受 付：15:30~

### <スケジュール>

16:00 ご挨拶 代表取締役 盛本修司

16:10 ~ 特別講演

1. 「新剤形、新医療用具が医療費の削減、医療従事者への負担軽減に貢献」  
—世界初ゼリー付きワンドーズパッケージ「GTパック」が、服薬遵守率100%を目指す  
—在宅の大幅負担軽減する胃瘻用注入器バッグ  
盛本修司 (株式会社モリモト医薬 代表取締役)
2. 「服薬をサポートする電子デバイス付きパッケージの開発と今後の展望」  
高森 寛子 (大日本印刷株式会社 包装事業部)
3. 「最近の医薬品事情の実態報告」  
「OTC医薬品の進歩で可能性が広がるこれからのセルフメディケーション」  
植木章二 (元塩野義製薬 製剤研究所主幹研究員、(株)ハイサム技研 企画・営業取締役)

18:00~

企業紹介、研究室紹介：数社予定

「お客様指向の商品、包装パッケージ」

シグマ紙業、大日本印刷、金陽製薬、その他 (口演企業調整中)

18:30~ 交流会懇親会

20:00 中締め

(お問合せ先) 営業部 山口好彦  
TEL06-6476-5572 FAX06-6476-5573  
Mail:yamaguchi-yo@m-ph.co.jp

ご挨拶

2013年1月7日  
株式会社モリモト医薬  
代表取締役 盛本修司

セルフメディケーション、OTC医薬品、健康食品の関係者の皆様  
服薬研究にご興味をお持ちの皆様  
新包装技術研究・開発に携わる皆様  
医療・医薬品に携わる病院関係者、調剤薬局、ドラッグストアの皆様  
在宅・介護に関わるケアマネージャー、ヘルパーの皆様  
大阪服薬研究会会員および会員希望の皆様

### 「服薬を支える新技術、イノベーションの展望」

超高齢化社会に向けてあなたはどのようにしますか？—安心・安全・便利・快適を目指して—

2013年の景気回復を皆様待ち望んでいるところと思います。現在の超高齢者社会において、ますます発展市場・重要ビジネスである医療と健康福祉産業、在宅介護向け分野でのビジネス展開は、皆様期待されるところであります。高齢者が健康を維持し、より快適な生活を送るための新商品、アイデア、さらに服薬を支援する技術は、ハード・ソフトともにますます重要になってきています。

わたくしは、武田薬品で20年間製剤研究活動を行い、(株)モリモト医薬創業8年目となりますが、医薬品の製剤研究開発一筋に行ってきています。2001年に武田薬品から上市した胃潰瘍治療剤のタケプロンのOD錠（口腔内崩壊錠）の開発プロジェクトリーダーとして1997年から着手し特許出願を行いましたが、それも2018年で特許切れとなります。OD錠を超える技術として、GT剤（ゼリーと組み合わせの製剤）を開発中であります。

その研究途中で病院医師や薬剤師・看護師そして在宅介護ヘルパーやケアマネージャーとの多くのヒアリングを行いました。その結果、製薬会社の開発と、病院や現場での服薬環境に、極めて大きなギャップと矛盾・問題点があることを知りました。つまり、製薬会社の想定外（保証範囲外）の使われ方を現場ではされていることと、服薬のコンプライアンス（服薬遵守）が非常に悪いことと、服薬に苦勞されて多くの時間と手間がかかりさらに患者も楽に服薬ができていないという実態を知りました。そこで、その問題点の解決できる商品開発に着手し、今年ついに2つの商品を世の中に出すための準備を行っております。（①GTパック：食品、②注入器：医療用具）

今後、病院や薬局、市場でのニーズ・要望をさらに深く調査し、高齢化社会・介護社会到来に備えての、さらには大災害を想定しての必要な技術・商品を今後展開していく所存です。

「服薬革命、服薬の世界を変える」には、皆様との情報・アイデア・人材を融合し活用することが重要です。さらに大学や民間問わず、医療を改善しようと志す研究者の方と実証研究を行い、有用性安全性のエビデンスをとっていくことが重要であり、皆様方の協力と、さらにビジネス提携を希望しています。

昨年、当社は「大阪研究センター」を開設し、今後治験薬工場付設を計画しておりますが、同時にここを、情報交流・発信、人材交流の場としたいということで、昨年4回のセミナー・交流会を開催いたしました。今回は、1月21日に、モリモト医薬新社屋4Fセミナールームにて開催いたしますので、ぜひ皆様方のご参画をお待ちしております。

特別講演として3題、1題目は株式会社モリモト医薬の盛本修司より、「新剤形、新医療用具が医療費の削減、医療従事者への負担軽減に貢献」を、第2題目は、大日本印刷株式会社の高森寛子先生より、「服薬をサポートする電子デバイス付きパッケージの開発と今後の展望」、そして、第3題目は、元塩野義製薬の植木章二先生より、「最近の医薬品事情の実態報告」と「OTC医薬品の進歩で可能性が広がるこれからのセルフメディケーション」で講演を予定しております。

パネル展示として、関連企業さま数社による、パネル新技術紹介口演とミニ展示、研究建屋見学、立食での交流パーティを行います。

皆様、万障繰り合わせのうえ、ご参加をお持ちしております。

## 特別講演内容

### 講演1

(株)モリモト医薬 盛本修司

【講演演題】： 「服薬革命 ゼリー付きワンドーズパッケージが薬の服薬の世界を変える」

【演者経歴】

1982年 京都大学工学部科学工学科卒業、プロセスシステムエンジニアリング（高松研究室）

1982年~ 2000年 武田薬品 製剤研究所 注射（10年）、固形（5年）、新剤形（3年）

出願特許70件以上、開発品目：10（タブレットOD錠、リュプロンデポ、アリナミンEX、パソポリン他）

2000年~ 2002年 天津武田薬品 工場長

2002年 川田（上海）有限公司医薬事業部長、2004年川田（天津）国際貿易有限公司 社長

2005年5月 盛本（天津）国際貿易有限公司 総経理（中）

2005年5月 株式会社 モリモト医薬 代表取締役（日）

2008年4月 GT剤開発開始、2011年5月 GT剤発表、2012年10月 GTパック発表

### 講演2

大日本印刷株式会社 高森 寛子

【講演演題】 「服薬をサポートする電子デバイス付きパッケージの開発と今後の展望」

【所属】 大日本印刷株式会社

包装事業部 メディカルヘルスケア本部 営業開発部 市場開発チーム

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町 1-1-1

Takamori-H2@mail.dnp.co.jp

TEL : 03-5225-5942 / FAX : 03-3266-4227

【経歴】 1999年 お茶の水女子大学生生活科学部卒業、

同年 大日本印刷株式会社入社（産業資材包材、及び食品包材の開発）

2005年 株式会社リクルート入社（メディアプロデュースに携わる）

2010年 大日本印刷株式会社再入社（医薬品包装に関する企画開発、大学・医療機関との共同研究）現在に至る

### 講演 3

植木章二

NPO-QA センター顧問

(株)ハイサム技研 企画営業取締役

製薬・健康食品会社：技術アドバイザー、顧問

役職：製剤研究所、主幹研究員

#### 【職務履歴】

- ・ 約 40 年間、某製薬会社に勤務して、製品（医療用、一般薬品）の製剤化検討、処方設定、工業化研究、製造標準設定、工場移管、及び治験薬 SOP 作成業務、製造・衛生管理業務及び苦情処理対応、GMP・GQP 教育訓練業務に従事してきた。

現在は、主として新刊書の発刊とセミナー活動している、(株)ハイサム技研の企画・営業等に従事

#### 【講演内容】

「最近の医薬品事情の実態報告」と「OTC 医薬品の進歩で可能性が広がるこれからのセルフメディケーション」の概要について、資料をもとに解説いたします。

<アクセス>

株式会社モリモト医薬 大阪研究センター

〒 : 555-0012

住所 : 大阪市西淀川区御幣島5丁目8-28

電話 : 06-6476-5572 FAX : 06-6476-5573

ホームページ <http://www.morimoto-iyaku.jp/> から地図をご覧ください。

● JR 大阪駅から

1. JR 神戸線 塚本駅下車 徒歩約 20 分 (タクシーをご利用下さい)
2. JR 神戸線 尼崎駅で JR 東西線に乗換え、御幣島駅下車 3 番出口 北へ徒歩約 10 分

● JR 北新地駅から

1. JR 東西線 御幣島駅下車 3 番出口 北へ徒歩約 10 分

● JR 新大阪駅から

1. JR 神戸線 塚本駅で下車 徒歩約 20 分 (タクシーをご利用下さい)
2. JR 神戸線 尼崎で JR 東西線に乗換え、御幣島駅で下車 3 番出口 北へ徒歩 10 分

● JR 御幣島駅から 3 番出口

1. 御幣島筋沿いに徒歩約 10 分。ジャガーの中古車センター (「御幣島 4」交差点) の角を右折、2 つ目の四つ角を左折し、2 軒目の歌島公園に面した 4 F 建ての建物
2. 歌島橋バスターミナルから大阪市バス「38 竹島 3 丁目」行に乗車、御幣島住宅前下車 徒歩約 3 分

● JR 塚本駅から タクシーをご利用下さい (約 5 分)

● 駐車場

弊社駐車場はスペースに余裕がありません。悪しからずご了承下さい。

参考 : 歌島公園駐車場タイムズ (徒歩 1 分)

